

救急受診のご案内

院内トリアージへのご理解とご協力をお願い

当院では、救急外来を受診される患者さんに対し、診察前に看護師が症状や全身状態を確認し、診療の緊急度を判断する「院内トリアージ」を実施しています。患者さんの安全を確保し、緊急性の高い方に速やかに診療を提供するための取り組みです。

◆院内トリアージとは

救急外来には、さまざまな症状の患者さんが来院されます。

当院では、患者さんの症状やバイタルサイン（血圧・脈拍・体温・酸素飽和度など）を確認し、診療の緊急度を判断しています。

そのため、**診察は必ずしも受付順ではなく、緊急度の高い患者さんを優先して行います。**

後から来院された患者さんが先に診察を受ける場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

特に、重症患者さんへの対応や緊急処置が必要な場合には、診察までにお時間をいただくことがあります。

患者さんの安全を最優先に診療を行っておりますので、ご理解をお願いいたします。

お待ちの間に症状がかわったら、すぐにお知らせください

救急受診のご案内

院内トリアージへのご理解とご協力をお願い

当院では来院された患者様に対して、来院後速やかに緊急度を判断し、緊急度が高い場合には、優先して診察する体制をとります。

◆実施時間：診療時間外に来院された方が対象です。

判定レベル	症状の特徴	診察の必要性	再評価の目安
レベル1 蘇生	・生命または四肢を失う恐れがある状態であり、直ちに積極的な介入が必要な状態である。 （心肺停止、重篤なショックなど）	直ちに診察が必要	治療継続
レベル2 緊急	・潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れのある状態で迅速な介入が必要な状態である。 （意識障害、重症呼吸困難、循環不安定など）	10分以内に診察が必要	15分ごと
レベル3 準緊急	・重篤な問題に悪化し得る潜在的な可能性のある状態であり、日常生活にも支障がある状態である。 （中等度の症状、強い疼痛など）	30分以内に診察が必要	30分ごと
レベル4 低緊急	・潜在的に悪化や合併症を生じる可能性がある状態であり、1～2時間以内に治療を開始または再確認して安心させることが望ましい状態である。 （比較的安定した状態）	1時間以内に診察が必要	1時間ごと
レベル5 非緊急	・急性期の症状でありうるが緊急性のないもの。 慢性期症状の一部である （軽症、慢性的な症状など）	2時間以内に診察が必要	2時間ごと

院内トリアージの判定基準：JTAS (Japan Triage and Acuty Scale)に準拠します。

夜間・休日における受診の流れ



負担額について

院内トリアージを実施した場合、診療に係る料金に院内トリアージ実施料を算定します。
厚生労働省が定めた保険点数は50点です